

目的 温熱的に快適な条件としての環境温度を、皮下脂肪厚を考慮した上で、着衣量との関係において追究する。

方法 第1報におけると同様である。

結果 数量化理論第1類による解析の結果に基づいて、皮下脂肪厚を平均値の12.65mmに固定し、温熱的に快適な条件としての環境温度を着衣のclo値との関係において求めた成績を表1に示す。皮下脂肪厚との関係では、それが3mm大きくなることによって0.56℃だけ低くなる。他の研究者による成績との相違には、本報の結果が皮下脂肪厚の影響を考慮したものであることが関与していると思われる。

Table 1. Comfort Conditions for Sedentary Persons

	Ambient temperature (°C)				
	Clothing level (clo units)				
	0	0.5	0.75	1.0	1.5
Authors (1980)					
Japanese student	-	23.3	21.0	19.2	-
English student	-	22.4	20.1	18.3	-
Winslow & Herrington (1949)	30	-	-	21	-
Fanger (1967)	28	26	-	23	20
Humphreys (1976)	29	26	-	23	20

- 文献 1) C.-E.A. Winslow and L.P. Herrington ; Temperature and Human Life, Princeton University Press, p136 (1949)
- 2) P.O. Fanger ; ASHRAE Transactions, 73 p III.4.1 (1967)
- 3) M.A. Humphreys ; Building Services Engineer, 44 (8) 176 (1976)